



加藤 博徳 議員



西古泉筒井線

町道西古泉筒井線の進捗は

いつ完成するか未定

落札率100%、異常では

今は事前公表をやめている

問 事業が遅れているが進捗率と完成予定は。いつ完成するかわからない事業に、今できても使用できない、踏切、交差点の着工は資金の有効利用の点からもおかしいのではないか。

答 町づくり課長

進捗率は20%。今年度エミフル側の交差点、ラウンドアバウトの整備と伊予鉄郡中線筒井東踏切の移設工事の着手予定。完成予定は、国費が非常に少なくなっているため、いつ完成するか未定。

問

① 予定価格と落札価格が同金額落札率100%の事例があったが、防止のため予定価格を事前公表してはどうか。

答 財政課技官

① 以前はくじ引きで落札する方式で問題があった。国から事前公表取りやめの要請があり従った。

② 入札率100%はおかしい。町が見積金額の算出を出来ないのでは。

答 町づくり課長

② 数量的なものは、業者によって算出。単価入力職員が実施している。

公共施設等総合管理計画の具体的な取組は

多角的な施設評価と町民の意見を反映する

問

① 今年の具体的な取組は。

答 副町長

① 今年度は、旧保健センター(121万円)、宗意原保育所(48万6千円)、消防詰所(1771万2千円)の解体を予定している。今後は多角的施設評価を行い、町民の意見を反映させる。

施設の更新、統合や廃止、また民間活力の導入等運営の見直しなど、住民サービスの低下にならないように取り組む。

もある。

③ 各施設を点検し細かな部分が発見できるように、町全体で情報を共し、整理してそれに基づき、悪いところが見つければ順次修繕していく。

② 毎年10億円程の改修費用が必要なのは

② 大きな工事を実施すれば10億円で不足の年度もあるが、施設整備の予定がなければゼロの可能性

③ 公共施設維持管理基金の積み立ても大切だが、傷みが小さい内に修繕すべきでは。

② 大きな工事を実施すれば10億円で不足の年度もあるが、施設整備の予定がなければゼロの可能性

③ 公共施設維持管理基金の積み立ても大切だが、傷みが小さい内に修繕すべきでは。

② 大きな工事を実施すれば10億円で不足の年度もあるが、施設整備の予定がなければゼロの可能性

② 大きな工事を実施すれば10億円で不足の年度もあるが、施設整備の予定がなければゼロの可能性